



総会、講演会に参加しました

アセット・マネジメント学科4年 父

後援会の定期総会と講演会に参加しました。会場は大きくて、きれいな建物でした。会場の入り口には大学の職員の方が案内をされていました。初めての方には、親切でわかりやすい案内だと思いました。そして、エレベーターで3階に上がると、後援会の受付があり、総会の資料をいただきました。

会場は普段、学生の講義に使っている大教室でしたが、そこもきれいな教室でした。子どもたちはこんなにきれいな教室で授業を受けているのですね。椅子に座っていると、いつの間にか自分が学生時代のころを思い出しました。冷房はあったかな？教室は暑いか、寒いかでした。エレベーターはあったのかな？階段で上り下りをしてはいたはず。プロジェクターなんてなかったし、机はぼろぼろ。21世紀の大学はこんなに素晴らしくなっているのですね。

しばらく自分の青春を思い出していると、総会が始まりました。学長の橘先生のご挨拶がありました。「進路決定率が79.8%である」ということですが、これは分母が卒業生総数である計算で、分母を就職希望者にして計算しなおすと、「進路決定率は95%以上である」と、すばらしい数字をお話されていました。頼もしい大学です。「今後はさらに学士力をつけるために、さらに教育体系を構築しなおす」という力強いお話がありました。

そして、法人事務局長の網屋先生のご挨拶がありま



した。「大学での学びと技術と資格を武器に、世界中どこにでも行ける実力をもった学生を育てる」というお話でした。21世紀は世界を相手に競争する時代です。競争だけでなく、お互いを理解し、助け合う時代でもあります。この大学での学びが世界で通用することを期待しています。我が子も世界どこにでも行く覚悟はできているようです。早く家を出たがっているだけかもしれませんが。

後援会の総会が始まりました。会計報告についての話のなかの「三文の徳食堂」に興味を持ちました。三文は一文銭が三枚のことで、ごくわずかの徳(得)のことですが、これはかなりの得です。期間限定ですが、250円の朝食を100円でいただけるそうです。大学と後援会がかなりの費用を補助し、100円で朝食を提供しています。4月から5月半ばまでで、2,757食の利用があったそうです。三文の徳(得)ではなく、150円も得ですし、朝から大学に行き、講義にも遅刻せず、勉強ができますし、健康にもよい。まさに、3両の徳(得)です。自分が学生のころを思い出しました。生協の食堂で朝食兼昼食を食べる日々で、一番手頃なB定食を食べていました。今の学生は本当に幸せです。

新しい役員の方の皆さまの紹介も終わり、講演会が始まりました。金融経済学部の中井先生の「資産運用について」のご講演です。大学の先生の話は難しい内容ではと思っていましたが、中井先生は私たちの顔を見て、反応、理解の度合いを探りながら、お話をされました。私たちにも理解できるように、資産運用の重要性を説明され、セカンド・ライフの計画や投資の話がされました。特に印象に残っているのは「資産運用をしないリスクを取っているリスク」です。何も対策をしないと、将来のインフレで資産が目減りがおこるといいうリスクがあります。それをわかっていながら、何も対策をしないリスクがあるということです。

続いて、医療福祉工学部の大石先生のご講演です。「身体の健康 体は何歳からでも変えられる」がテーマでした。「科学技術の発展で、身体活動量が低下し、栄養過剰摂取の時代である。基礎代謝を上げ、身体活動量を増やすことが大切である」と説明されていらっしやいました。特に、「生活習慣病はもれなく、確実に進行する。まだまだ大丈夫、自分だけは特別だと思ふことをせずに、本気で取り組みれば必ず改善する」とのことです。「健康寿命を延ばし、人生を楽しんでください」とのことでした。大石先生のアドバイスは、「4分間でマインドセット」です。「4分間運動すると、調子がアップします。4分間やっていると、もっとやろうと思ひ始めます。だから、とにかく4分間運動する。そして、雨に備えてプランB(もうひとつの練習計画)を作っておくように」とのことでした。

講演会が終わると、懇親会です。懇親会は1階で開催されました。

大石先生のお話しにありましたように、身体活動量を増やすためにエレベーターを使わずに、1階まで階段で降りました。

内容豊かなご講演をありがとうございました。大学が持っている「知の蓄積」を広く一般に公開するのは、とても有意義なことです。来年の講演に期待をしています。ありがとうございました。



懇親会は有意義で、楽しかったです。

アセット・マネジメント学科4年 父

大学の先生方との懇親会が、後援会の定期総会の後に行われました。子どもは大学でどう過ごしているか、何も言ってくれず、心配でした。そこで、懇親会に参加してみましたので、その様子をお知らせします。

初めに、学長先生のご挨拶がありました。会場が広くて、よく聞き取れませんでした。それよりどんな人が参加されているのか、興味がありました。去年も参加された人もいらっちゃって、さっそくご挨拶をし、お互いの子どもの様子を話し合いました。他の人のお子さんのしっかりした生活ぶりを聞くと、我が子の独立性のなさが気になります。

初めての方もいらっちゃいますが、みなさん名札を付けていますので、何学科かすぐにわかります。テーブルが学部、学科ごとに分かれているので、とても話しやすいです。子どもが所属しているゼミの先生もいらっちゃいます。

他のテーブルから声が聞こえてきます。

保護者「息子がお世話になり、ありがとうございます」

先生「あー、A君のお母さんですか。A君は頑張りますよ。よく勉強してますよ」

保護者「うちの子、大学でのこと、何も言わないんですよ。帰りは遅いし」

先生「大丈夫ですよ、研究で遅くまで残ってますから」

保護者「就職も心配です」

先生「就職のことは心配いりません。たくさんの企業から募集が来てますから」

テーブルの上には、多くの料理が並んでいます。セルフサービスで、自分で取りに行きます。お寿司、お刺身、おそば、サンドウィッチ、ケーキ、サラダ、唐揚げ、ウインナー、ビーフ、ビール、ジュース、お茶など、たくさんありました。ご夫婦で参加されている方もいらっしゃいました。ご主人が会社の人と仕事帰りに、駅前で飲んでいるより、大学の懇親会で飲んでいる方が有意義です。子どものことを大学の先生から直接聞くことができるからです。

今年度、入学された1年生の保護者の方とお話をしました。大学の勉強や資格の学習、就職のことが気になっていらっしゃるようです。資格を取るために、大学で実施している講座にすでに参加されているようです。同じ学年の保護者の方もいらっしゃいました。自分の子どもとその方のお子様の家庭での状況について話をしました。

みなさん！お互いの顔を見ることができると懇親会をしている大学は大阪電気通信大学だけです！他の近畿の有名私立大学ではできないことです。先生方の顔を見ることができ、大学の事務の先生方の顔を見ることができ、直接、お話を聞くことができる、子どもの友達の保護者の方とお話ができる、おいしい食べ物を食べることができる。本当に有意義な懇親会でした。

みなさん！こんなにおいしい懇親会、来年も来てくださいね。お父さんも、会社帰りに駅前で飲むより、大学の寝屋川キャンパスで、有意義に飲んでくださいね。



案ずるより生むが易し

情報工学科2年 母

自分を分析してみるに、思っていることがあってもはっきり口に出して言えなくてジレンマに陥ったり、物事が決められなくていつも貧乏くじを引いたりするタイプ。変えなくては！変わらなくっちゃ！！と思うだけで行動に移せない…。人の性格なんてすぐ変われば、世の中もっと住みやすいやん。と開き直ってみた



り。案内が届いた総会も、めんどくさいけど子どもがお世話になってることだし、一年に一回だし、講演も授業を持つ先生の話と知り、出歯亀根性丸出して大学へ出向きました。どこに座ろうかな。前は、もし当てられたらいやだし、後では聞こえにくいかも。字も年のせいで見にくいだろうな…。学生に戻ったみたいなき境で、とにかく無難な席につきました。

まず、来賓の挨拶、総会、その後がお待ちかねのメインイベント。予定より早く総会が進行したので、講演の時間まで中井先生が中国へ行かれたお話をされ、映像を見せてもらいました。空海聖人という名より、弘法大師で親しまれています。人物像は気になっていましたが、歴史嫌い、読書嫌いの私でも引き込まれ、時間を作って関係書籍を読もうと強く思いました。肝心の講演ですが、来るまで理解できるかな？と思っていましたが、とても解り易く、もっともっと詳しく聞きたいと感じる程、あっという間の楽しいひと時でした。頭の中では、もうけて富豪になった気分でした。次の講演は、大石先生のタイプの異なる内容で、これまた身近な事でもあったので、とても参考になり即実践してみました。継続は力なりとはよくいったものです。最初の目標設定が高すぎ、いつまでも若いつもりでいましたが、年に逆らえない体力の低下を目の当たりに思い知らされました。仕事と親の面倒とでオーバーヒートぎみでしたが、自分の限界値を知ることが

出来、無理が少し軽減されました。棚ぼたで違う収穫もあり、こちらをもっと知りたい！もう年考えて無理に体動かさんとこ。と思いがらの生活から脱皮です。年なりに、でもまだまだ頑張るで一。と士気立ちました。ここ数回の総会後の講演会は、子供の就職とか、子供関係が多かったけれど、親の気分転換や為になるものも、いいかなと思いました。お二方の講演内容や雰囲気は、出席した者の秘密の宝物。とても心地よい気持ちのまま懇親会へ。学科の先生や他の保護者の方とお話できて、知ってる人がいないし、出席しようか悩んでいた自分が馬鹿みたい。あー、思い切って来てよかった！と思えた一日でした。同席した方、ありがとうございました。

